

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404
FAX 984-4011

火災から命を守るために

電気器具の安全な取り扱い

電気器具は日常生活において欠かすことのできないものですが、使用者の不注意や誤った方法で使用した場合は、火災につながるおそれがあります。

電気器具を使用する際には、次のことに注意して、安全に使用しましょう。



●電気器具の点検の実施

扇風機などの季節を限定して使用する電気器具は、毎年使用する前に必ず点検しましょう。

また、使用中に普段と違った音や動きに気付いたときは、すぐに使用を止め、コンセントから差し込みプラグを抜いて、専門の業者に点検してもらいましょう。

●電気器具の正しい使用

電気器具を本来の用途以外に使用した場合、器具に負荷がかかって過熱し、火災の原因になることがあります。使用する前に取扱説明書をよく読み、その機能を十分に理解して正しく使用しましょう。

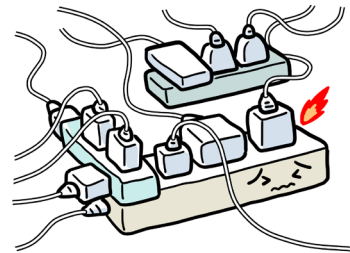
また、アイロンやヘアードライヤーなどは、スイッチを切り忘れたまま放置すると火災の原因になります。使用しないときは、器具のスイッチを切るだけでなく、差し込みプラグをコンセントから抜いておきましょう。



●電気配線などからの出火防止

現在では、家電製品やOA機器の普及により、数多くの電気器具が使用されるようになりました。

このため、使用する電気器具に対しコンセントが不足し、たこ足配線になる傾向があります。電源タップの容量の上限は、1,500Wまでとされており、許容量を超えて電気器具を使用すると電源タップが過熱し、火災の原因となるので、たこ足配線は絶対にやめましょう。



また、コンセントに差し込みプラグを長時間差し込んだ状態でコンセントと差し込みプラグの間にほこりなどが付着すると、付着したほこりが湿気を帯び、通電している電気により出火することがあります（トラッキング火災）。コンセントや差し込みプラグに付着したほこりは取り除き、外出時や就寝時は、差し込みプラグを抜くようにしましょう。

さらに、傷んだコードを使用したり、束ねた状態や家具などの下敷きの状態で使用したりすると、その部分に負担がかかり、断線して出火する可能性があるため大変危険です。傷んだコードは早めに交換し、家具の下敷きの状態や、束ねた状態での使用はやめましょう。

【注意事項】

- ①使用しないときは、コンセントから抜く。
- ②たこ足配線は、絶対にしない。
- ③差し込みプラグに付着したほこりなどは取り除く。
- ④傷んだコードは使用しない。
- ⑤コードは束ねた状態で使用しない。